

JICA 海外協力隊、グアテマラでの経験を小学生に！

～2月15日(木) 13時35分から14時20分@岡崎市立六名小学校～

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上国で現地の人とともに生活し、課題解決に貢献する JICA 海外協力隊を派遣しています。この JICA 海外協力隊員として派遣され、今年1月末に帰国したばかりの山本 真弓さん（数学教育/2021年度7次隊）が岡崎市立六名小学校を訪れ、グアテマラでの活動報告を行います。山本さんは、同小学校、そして同小学校に勤務中の藤本教諭（JICA 海外協力隊経験者）と、グアテマラ派遣中からつながりがありました。簡単な経緯は以下のとおりですが、是非、当日の取材・報道につきましてご検討いただきたく、よろしくお願いたします。

JICA は、開発途上国で必要とされている物品を皆さまからご提供いただき、JICA 海外協力隊や在外事務所を通じて、現地の人々へ届ける「世界の笑顔のために」プログラムを実施しています。

グアテマラで2024年1月末まで活動していた山本 真弓さん（数学教育/2021年度7次隊）は、現地の小学校での活動のため、算数セット(※)を「世界の笑顔のために」プログラムで要望しました。協力隊経験者で、岡崎市立六名小学校で勤務していた藤本 多真季さん（家政/平成18年度0次隊/マラウイ）は、これに協力するため、同校の5,6年生とグアテマラの小学校をオンラインでつなぎ、「グアテマラ国の紹介ならびに活動紹介」をする交流会を行いました。現地では山本さんがアレンジしました。

その後六名小学校では、算数セット38個が集まり、そのうちのいくつかがグアテマラの小学校へ送られました。グアテマラの子どもたちは、日本から送られた算数セット※で勉強をしたようです。

こうした経緯を経て、今回、帰国したばかりの山本さんが同小学校を訪れ、グアテマラでの活動報告を行うことになりました。

※算数セットとは、小学校低学年の算数の授業で用いられる副教材で、おはじき、数え棒、ブロックなどの半具体物で構成され、数の概念や計算を理解しやすくする目的で使用されます。

日時：2024年2月15日（木）13時35分～14時20分
場所：愛知県岡崎市立六名小学校（愛知県岡崎市六名3-2-1）
対象者：六名小学校5,6年生（330人）



●JICA 海外協力隊とは

JICAでは、1965年の青年海外協力隊発足から現在まで、累計99か国、55,000人以上を世界各国に派遣しています。隊員は開発途上国や海外日系社会からの要請により派遣され、現地の人々と同じ目線で共に生活し、活動を行います。

JICA 海外協力隊ウェブサイト：<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

●「世界の笑顔のために」プログラムとは

開発途上国で必要とされている、スポーツ、日本文化、教育、福祉などの関連物品を皆さまからご提供いただき、JICA海外協力隊や在外事務所を通じて、現地の人々へ届けるプログラムです。日本では当たり前のように身近にあり、使われないまま眠っている物もそれらを必要としている人々に届けることで、世界の人々の笑顔につながります。

「世界の笑顔のために」プログラム：<https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/smile/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA 海外協力隊について

JICA 中部センター 市民参加協力課 伊藤

TEL : 052-533-0120 e-mail : Ito-Tomoyo@jica.go.jp

◆当日の取材について

愛知県岡崎市立六名小学校 藤本

TEL : 0564-51-3536